

消 防 統 計

令和4年

西尾市消防本部

凡 例

1. この統計書は、西尾市消防本部管轄区域における火災、救急、救助について、原則として令和4年の統計を収録し、一部の表には過去4年分の計を比較対象のため掲げてあります。
2. この統計に記載されている小数点の数値にあつては四捨五入しています。端数調整をしていないため、合計が100パーセントとならない場合があります。
3. 火災統計にある令和4年数値は速報値としての公表であり、精査の結果、数値を修正する可能性があります。なお、令和3年以前の数値は確定値となります。

火災統計

目 次

1	令和4年 火災概要	1
2	火災概況	2
3	出火件数と出火率	
(1)	火災種別出火件数の構成割合	3
(2)	月別火災発生状況	3
(3)	出火率・出火件数及び人口の増加率	3
(4)	地区別出火件数の推移	4
(5)	覚知方法別出火件数	4
4	損害額	
(1)	損害額の推移	5
(2)	火災種別損害額	5
5	出火原因	
	出火原因別出火件数	6
6	その他	
(1)	時間帯別火災発生状況	7
(2)	曜日別火災発生状況	7
(3)	火災による死傷者の推移	8
(4)	火元用途別建物火災の損害状況	8
(5)	建物火災の損害額及び焼損床面積の段階別出火件数	8
(6)	火災種別出火件数の推移	9
(7)	初期消火器具等の使用状況	9
(8)	主な出火原因の推移	9

1 令和4年 火災概要

(1) 出火件数

令和4年中における出火件数は61件で、前年の70件と比べ9件減少した。

出火件数を月別にみると、3月が8件(13.1%)と最も多く、次いで6月及び11月が各7件(各11.5%)、2月及び4月が各6件(各9.8%)、7月が5件(8.2%)、1月、5月、8月及び12月が各4件(各6.6%)、9月及び10月が各3件(各4.9%)の順であった。

さらに、出火件数を地区別にみると、「西尾地区」が18件(29.5%)で最も多く発生し、次いで「一色地区」が10件(16.4%)、「平坂地区」が8件(13.1%)、「福地地区」が6件(9.8%)、「吉良地区」が5件(8.2%)、「米津地区」が4件(6.6%)、「寺津地区」及び「幡豆地区」が各3件(各4.9%)、「室場地区」及び「三和地区」が各2件(各3.3%)の順であった。

(2) 死傷者

火災による死者は4名、負傷者は8名であった。

(3) 出火原因

主な出火原因を原因別にみると、「たばこ」が8件(13.1%)で最も多く、次いで、「電灯・電話等の配線」が6件(9.8%)、「たき火」が5件(8.2%)、「電気機器」が4件(6.6%)、「こんろ」が3件(4.9%)、「放火、放火の疑い」が2件(3.3%)、「火遊び」、「溶接機・切断機」及び「煙突・煙道」が各1件(各1.6%)であった。

2 火災概況

区 分	単位	令和4年 (A)	令和3年 (B)	増減数 (A)-(B) (C)	増減率 (C)/(B)×100 (%)
出 火 件 数		61	70	△ 9	△ 12.9
建 物	件	30	41	△ 11	△ 26.8
林 野		2	1	1	100.0
車 両		6	7	△ 1	△ 14.3
船 舶		0	1	△ 1	△ 100.0
航空機		0	0	0	0.0
その他		23	20	3	15.0
焼 損 棟 数		39	53	△ 14	△ 26.4
全 焼	棟	9	14	△ 5	△ 35.7
半 焼		2	3	△ 1	△ 33.3
部分焼		11	14	△ 3	△ 21.4
ぼ や		17	22	△ 5	△ 22.7
建物焼損床面積	m ²	1,341	3,030	△ 1,689	△ 55.7
建物焼損表面積	m ²	102	193	△ 91	△ 47.2
林野焼損面積	a	2	1	1	100.0
死 者	人	4	2	2	100.0
負 傷 者	人	8	4	4	100.0
り 災 世 帯 数		26	25	1	4.0
全 損	世帯	6	6	0	0.0
半 損		0	4	△ 4	△ 100.0
小 損		20	15	5	33.3
り 災 人 員	人	60	72	△ 12	△ 16.7
損 害 額		243,005	278,915	△ 35,910	△ 12.9
建 物	千円	213,871	278,021	△ 64,150	△ 23.1
林 野		0	0	0	0.0
車 両		13,736	869	12,867	1,480.7
船 舶		0	21	△ 21	△ 100.0
航空機		0	0	0	0.0
その他		15,398	4	15,394	384,850.0
出 火 率		3.6	4.1	△ 0.5	—

- 1 「全焼」とは、建物(収容物を除く。)の焼損部分の焼き損害額が火災前の建物の評価額の70%以上のものをいう。
- 2 「半焼」とは、建物(〃)の焼損部分の焼き損害額が火災前の建物の評価額の20%以上のもので全焼に該当しないものをいう。
- 3 「部分焼」とは、建物(〃)の焼損部分の焼き損害額が火災前の建物の評価額の20%未満のものでぼやに該当しないものをいう。
- 4 「ぼや」とは、建物(〃)の焼損部分の焼き損害額が火災前の建物の評価額の10%未満であり焼損床面積が1㎡未満のもの又は収容物のみ焼損したものをいう。
- 5 「全損」とは、建物(収容物を含む。)の焼損部分の火災損害額が火災前の建物の評価額の70%以上のものをいう。
- 6 「半損」とは、建物(〃)の焼損部分の火災損害額が火災前の建物の評価額の20%以上のもので全損に該当しないものをいう。
- 7 「小損」とは、建物(〃)の焼損部分の火災損害額が火災前の建物の評価額の20%未満のものをいう。
- 8 出火率は、人口1万人に対する出火件数をいう。(令和4年12月1日現在 170,464 人)

3 出火件数と出火率

(1) 火災種別出火件数の構成割合

火災種別	年	令和4年(%)	令和3年(%)
建 物 火 災		49.2	58.6
林 野 火 災		3.3	1.4
車 両 火 災		9.8	10.0
船 舶 火 災			1.4
航 空 機 火 災			
そ の 他 火 災		37.7	28.6

(2) 月別火災発生状況

月別	区分	計	火 災 種 別					
			建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他火災
1月		4 (6.6%)	1					3
2月		6 (9.8%)	4		1			1
3月		8 (13.1%)	5					3
4月		6 (9.8%)	1	1	1			3
5月		4 (6.6%)	1		2			1
6月		7 (11.5%)	3	1				3
7月		5 (8.2%)	4					1
8月		4 (6.6%)	2					2
9月		3 (4.9%)	2		1			
10月		3 (4.9%)	2		1			
11月		7 (11.5%)	4					3
12月		4 (6.6%)	1					3

※ ()内は令和4年火災件数61件に対する割合(%)をいう。

(3) 出火率・出火件数及び人口の増加率

区分	年	令和4年	平成30年	増加率(%)
出 火 率 (ポ イ ン ト)		3.6	3.5	0.1
出 火 件 数 (件)		61	60	1.7
う ち 建 物 火 災		30	35	△ 14.3
人 口 (人)		170,464	172,246	△ 1.0

※ 人口は令和4年12月1日現在とする。

(4) 地区別出火件数の推移

年 地区	平成30年	令和元年 (平成31年)	令和2年	令和3年	令和4年
西尾地区	14	21	10	15	18(29.5%)
平坂地区	5	7	12	15	8(13.1%)
寺津地区	4	5		1	3(4.9%)
福地地区	4	6	2	5	6(9.8%)
室場地区	2	1	2	2	2(3.3%)
三和地区	10	4	3	3	2(3.3%)
米津地区	1		1	2	4(6.6%)
一色地区	5	4	10	8	10(16.4%)
吉良地区	10	7	5	12	5(8.2%)
幡豆地区	5	6	6	7	3(4.9%)
計	60	61	51	70	61

※ ()内は令和4年火災件数61件に対する割合(%)をいう。

(5) 覚知方法別出火件数

火災報知専用電話(NTT加入)	7件	11.5%
火災報知専用電話(NTT加入除く)	7件	11.5%
火災報知専用電話(携帯)	33件	54.1%
加入電話(固定)	2件	3.3%
加入電話(携帯)	件	%
駆け付け通報	件	%
事後聞知	11件	18.0%
その他	1件	1.6%

※ 火災報知専用電話とは、通報者等が行う火災や救急等に関する緊急通報を、消防機関が受信するための専用電話をいう。

4 損害額

(1) 損害額の推移

損害額	年	平成30年	令和元年 (平成31年)	令和2年	令和3年	令和4年
損害額(千円)		102,920	95,666	695,053	278,915	243,005
	指数	100	93	675	271	236
1件当たり損害額(千円)		1,715	1,568	13,628	3,985	3,984
	指数	100	91	795	232	232
1ヶ月当たり損害額(千円)		8,577	7,972	57,921	23,243	20,250
	指数	100	93	675	271	236

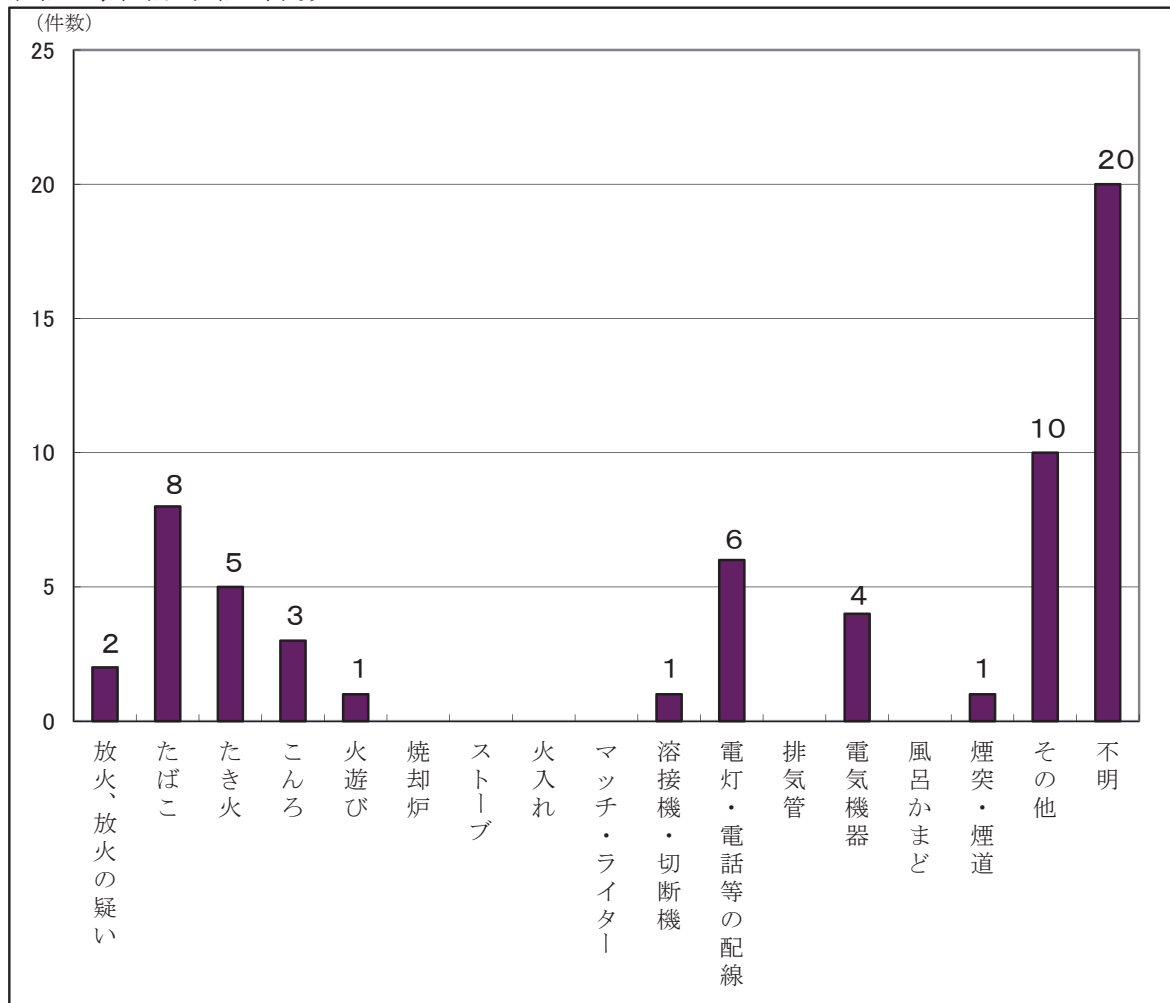
※ 指数については、平成30年の損害額を100とした比をいう。

(2) 火災種別損害額

火災種別	区分	損害額 (千円)	割合 (%)	1件当たりの損害額 (千円)
建物火災		213,871	88.0	7,129
林野火災				
車両火災		13,736	5.7	2,289
船舶火災				
航空機火災				
その他火災		15,398	6.3	669
計		243,005	100	平均 3,984

5 出火原因

出火原因別出火件数



6 その他

(1) 時間帯別火災発生状況

火災種別 時間帯別	計	火 災 件 数					
		建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他火災
	61	30	2	6	0	0	23
0～1	2						2
1～2	2	1		1			
2～3							
3～4							
4～5	2	2					
5～6							
6～7							
7～8	5	2		1			2
8～9	2	2					
9～10	6	3					3
10～11	3	3					
11～12	4	3					1
12～13	5	2		1			2
13～14	2		1				1
14～15	3	1	1				1
15～16	3			1			2
16～17	2						2
17～18	2	1					1
18～19	3	2					1
19～20	6	5					1
20～21	3			1			2
21～22	2	2					
22～23	2	1					1
23～24	1						1
不 明	1			1			

(2) 曜日別火災発生状況

火災種別 曜日別	計	火 災 件 数					
		建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他火災
	61	30	2	6	0	0	23
日 曜 日	6	3					3
月 曜 日	8	5					3
火 曜 日	11	6		2			3
水 曜 日	7	1	1	2			3
木 曜 日	12	6					6
金 曜 日	7	5	1				1
土 曜 日	10	4		2			4
不 明							

(3) 火災による死傷者の推移

年 死傷者	平成30年	令和元年 (平成31年)	令和2年	令和3年	令和4年
死者(人)	3	5	1	2	4
負傷者(人)	4	5	8	4	8

※ 死者には、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者を含む。

(4) 火元用途別建物火災の損害状況

用途別 区分	出火件数			焼損床面積 (㎡)	損害額 (千円)
	令和4年	令和3年	増減率(%)		
住宅 (併用含む)	13	14	△ 7.1	519	55,843
共同住宅	6	2	200.0	28	6,173
工場・作業場	6	8	△ 25.0	371	74,318
倉庫	2	6	△ 66.7	26	87
診療所		1	△ 100.0		
飲食店		1	△ 100.0		
その他	3	9	△ 66.7	44	66,037
計	30	41	△ 26.8	988	202,458

1 火元用途とは、消防法施行令別表第一による用途別の区分をいう。

2 損害額は、火元建物の損害額であり、類焼による損害額は含まず。

(5) 建物火災の損害額及び焼損床面積の段階別出火件数

損害額(千円)	出火件数(件)	焼損床面積(㎡)	出火件数(件)
1未満	2	1未満	14
1～10未満	5	1～20未満	7
10～100未満	5	20～40未満	2
100～500未満	2	40～60未満	2
500～1,000未満	2	60～80未満	
1,000～5,000未満	8	80～100未満	
5,000～10,000未満		100～200未満	3
10,000以上	6	200以上	2
計	30	計	30

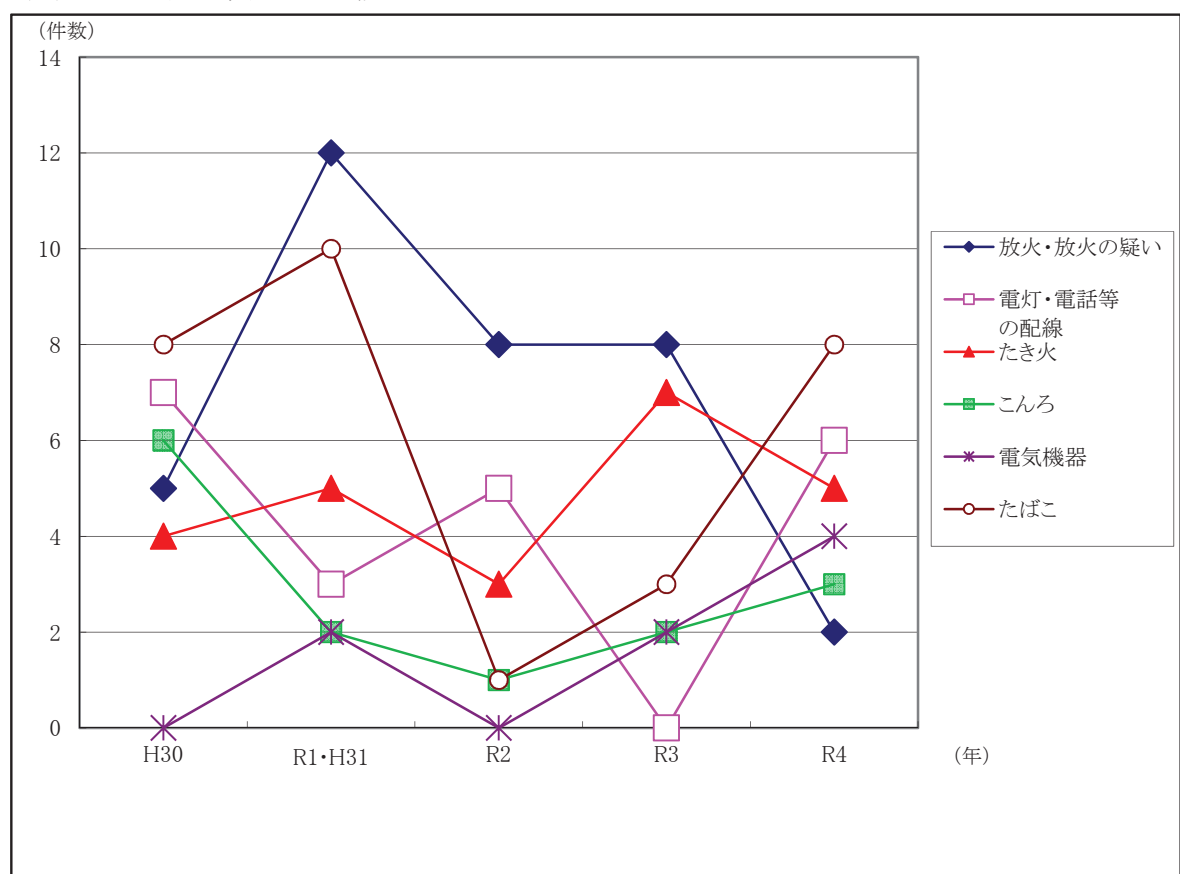
(6) 火災種別出火件数の推移

火災種別 年	計	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他火災
平成30年	60	35	1	3	1		20
令和元年 (平成31年)	61	37	2	3			19
令和2年	51	29		2			20
令和3年	70	41	1	7	1		20
令和4年	61	30	2	6			23

(7) 初期消火器具等の使用状況

区 分	消火器	簡易消火用具 水バケツ等	水道、浴槽、 汲み置き等の 水をかけた	寝具、衣類 等をかけた	もみ消した	その他	初期消火なし
使用状況	15	3	12			4	27
奏効件数	9		5			1	

(8) 主な出火原因の推移



救急統計

目 次

1 令和4年 救急業務の概要	-----	1
2 救急出動件数及び搬送人員	-----	2
3 医療機関別搬送人員	-----	3
4 傷病程度別搬送人員	-----	3
5 署所別救急出動件数及び支援出動件数	-----	4
6 地区別救急出動件数及び搬送人員	-----	4
7 現場到着所要時間別出動件数	-----	5
8 収容所要時間別搬送人員	-----	5
9 年齢・性別搬送人員	-----	6
10 時間別救急出動状況	-----	6
11 救急法講習会実施状況	-----	7
12 普通救命講習会実施状況	-----	7
13 出動件数の推移	-----	8

1 令和4年 救急業務の概要

(1) 出動件数及び搬送人員

令和4年中における救急出動件数については7,574件で、前年と比べ933件増加した。搬送人員については7,070人で、前年と比べ768人増加した。いずれも過去最多となった。

出動件数を事故種別でみると、「急病」が5,365件で、前年と比べ801件増加した。なお、前年からの救急出動件数の増加933件のうち、約86%が急病の増加であった。

出動件数を月別にみると、8月と12月が特に多く、月の平均が約631件に対し、8月は767件、12月は772件であった。

(2) 救急需要についての考察

年間を通じて新型コロナウイルスによる救急需要の増加があるが、特に新型コロナウイルス第7波、第8波の影響が大きく、8月及び12月の救急出動件数が増加した。

さらに、8月は熱中症による救急需要の増加も考えられる。令和4年の熱中症件数は91件で、前年の46件と比べほぼ倍加している。しかし、当本部の気象観測装置によると、猛暑日数や平均気温は例年と大きな違いはなかった。

令和4年は3年ぶりに行動制限のない夏であったため、マスク等の感染防御をしたまま行動することにより、熱中症が増加した可能性が考えられる。

(3) 救急搬送困難事案について

統計には示していないが、令和4年に85件の搬送困難事案*が発生し、そのうち、8月に19件、12月に20件が発生した。当本部では、今後もホームページや応急手当普及啓発講習で、救急車の適正利用や熱中症の予防等について広報していく。

※搬送困難事案とは、救急隊による「医療機関への受入れ照会回数4回以上」かつ「現場到着から現場出発までに30分以上」を要した事案をいう。

【救急車の適正利用にご協力を】

<https://www.city.nishio.aichi.jp/kurashi/shobo/1001373/1004553.html>

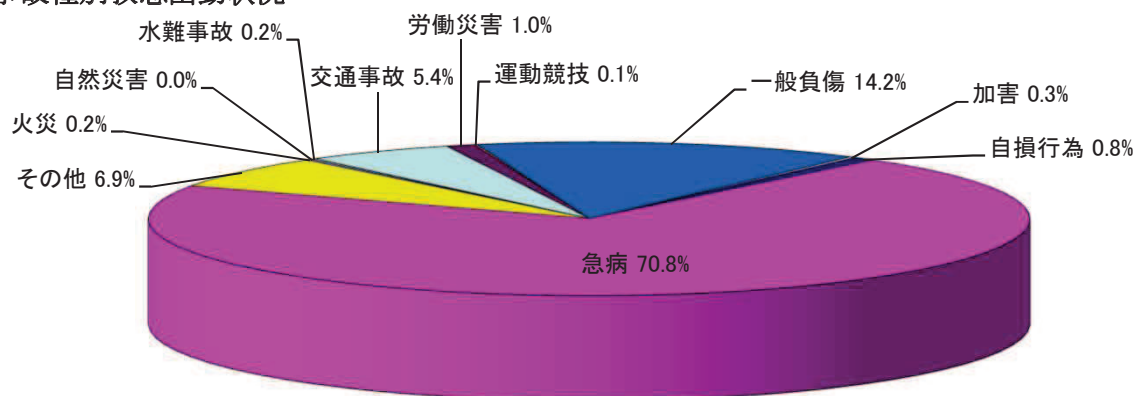
(4) 支援出動件数の追加について

119番通報で傷病者が重傷と予測される場合や、高層建物で救急隊のみでの傷病者搬送が困難になる場合等では、消防隊が救急隊の活動を支援している。令和4年救急統計から署所別の支援出動件数についての項目を追加する。(該当箇所4ページ)

2 救急出動件数及び搬送人員

月別	区分	合計	事故種別										
			火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
1	出動件数	607	1		1	23	2		97		4	433	46
	搬送人員	566				21	2		95		3	399	46
2	出動件数	591	3		1	26	4		87	1		420	49
	搬送人員	558			1	28	4		83	1		394	47
3	出動件数	577			1	31	11	3	79		6	404	42
	搬送人員	537			1	29	11	2	74		3	375	42
4	出動件数	532	2		2	44	7		90	2	4	350	31
	搬送人員	507	2		2	43	7		88	2	3	330	30
5	出動件数	582	1		3	44	9		86	2	4	388	45
	搬送人員	541	2		3	39	9		78	2	3	362	43
6	出動件数	595	2		1	42	6	1	65	1	4	431	42
	搬送人員	558	2			40	6	1	62	1	2	403	41
7	出動件数	687	1		1	23	5	1	78	2	6	534	36
	搬送人員	647	1			23	5	1	77	2	3	499	36
8	出動件数	767	3		1	34	7	1	79	5	5	601	31
	搬送人員	706	1			33	6	1	74	4	4	553	30
9	出動件数	640	3			29	11	1	95		7	457	37
	搬送人員	594				28	11	1	93		4	420	37
10	出動件数	594	1		3	38	3	2	112	6	12	363	54
	搬送人員	557				36	3	2	106	4	7	346	53
11	出動件数	630				39	10		91	1	8	433	48
	搬送人員	587				34	10		85	1	6	404	47
12	出動件数	772				39	3		115		3	551	61
	搬送人員	712				41	3		105		3	501	59
累計	出動件数	7,574	17	0	14	412	78	9	1,074	20	63	5,365	522
	搬送人員	7,070	8	0	7	395	77	8	1,020	17	41	4,986	511

事故種別救急出動状況



3 医療機関別搬送人員

事故種別		医療機関		急病	交通事故	一般負傷	その他	合計	
		急病	交通事故	一般負傷	その他	合計			
救急告示医療機関	国立	3					1	4	
	公立	2,811	224	753	279	4,067			
	公的	918	61	73	246	1,298			
	私的	病院	1220	110	192	136	1,658		
		診療所					0		
	計	4,952	395	1,018	662	7,027			
その他の医療機関	国立							0	
	公立	13			4	17			
	公的					0			
	私的	病院	12			3	15		
		診療所	9		2		11		
	計	34	0	2	7	43			
計	国立	3					1	4	
	公立	2,824	224	753	283	4,084			
	公的	918	61	73	246	1,298			
	私的	病院	1232	110	192	139	1,673		
		診療所	9		2		11		
	計	4,986	395	1,020	669	7,070			
その他の場所(歯科医等)									
合計		4,986	395	1,020	669	7,070			

4 傷病程度別搬送人員

事故種別	傷病程度		死亡		重症		中等症		軽症		その他		小計	
	性別		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
火災					2			2	3	1			5	3
自然災害													0	0
水難事故	2	1					4						6	1
交通			9	5	59	41	142	139					210	185
労働災害			9		25	3	35	5					69	8
運動競技							2		6				8	0
一般負傷	4	2	11	19	117	223	317	327					449	571
加害					2				7	8			9	8
自損行為	6	2	3	2	2	9	9	8					20	21
急病	84	60	144	90	1,237	947	1,312	1,112					2,777	2,209
その他		1	16	21	239	223	6	5					261	250
小計	96	66	194	137	1,687	1,448	1,837	1,605	0	0	3,814	3,256		
計	162		331		3,135		3,442		0		7,070			

5 署所別救急出動件数及び支援出動件数

区分	署所別	本署 救急西尾1	北出張所 救急西尾4	東出張所 救急西尾3	西分署 救急西尾2	一色分署 救急西尾5	吉良分署 救急西尾6	幡豆分署 救急西尾7	合計
救急出動		2,021	1,011	730	1,236	1,030	929	617	7,574
支援出動		312	150	106	195	194	148	98	1,203

支援出動:119番通報で傷病者が重傷と予測される場合や、高層建物で救急隊のみでの傷病者搬送が困難になる場合等では、消防隊が救急隊の活動を支援している。

6 地区別救急出動件数及び搬送人員

地区別	区分	合計	事故種別										
			火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
西尾	出動件数	2,523	9			128	16	1	340	8	16	1,676	329
	搬送人員	2,363	1			120	16	1	323	6	9	1,564	323
平坂	出動件数	951				38	4	2	130	6	18	721	32
	搬送人員	881				40	4	1	123	5	13	663	32
寺津	出動件数	270			1	15	7	1	37		4	204	1
	搬送人員	243				11	7	1	37		2	184	1
福地	出動件数	417	1			28	2		53	1	3	328	1
	搬送人員	389	1			28	2		49	1	2	305	1
室場	出動件数	156				11	2	1	28			114	
	搬送人員	148				10	2	1	27			108	
三和	出動件数	441				34	11	2	56		1	297	40
	搬送人員	419				31	10	2	56		1	279	40
米津	出動件数	285	1			18	2		41		1	216	6
	搬送人員	256	2			18	2		38			190	6
一色	出動件数	1,011	6		6	52	12	2	144	2	9	704	74
	搬送人員	938	4		3	50	12	2	136	2	7	651	71
吉良	出動件数	981			4	58	15		149	2	4	732	17
	搬送人員	922			2	55	15		138	2	2	693	15
幡豆	出動件数	536			3	28	7		96	1	7	373	21
	搬送人員	508			2	30	7		93	1	5	349	21
市外	出動件数	3				2							1
	搬送人員	3				2							1
合計	出動件数	7,574	17	0	14	412	78	9	1,074	20	63	5,365	522
	搬送人員	7,070	8	0	7	395	77	8	1,020	17	41	4,986	511

7 現場到着所要時間別出動件数

事故種別 所要時間	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
3分未満	18	2	6	4	30
3分以上5分未満	93	7	25	37	162
5分以上10分未満	3,040	225	622	450	4,337
10分以上20分未満	2,123	172	412	211	2,918
20分以上	91	6	9	21	127
合計	5,365	412	1,074	723	7,574

所要時間

最短(分)	1	1	0	1	0
最長(分)	52	25	41	36	52
平均(分)	9.4	9.7	9.0	8.9	9.3

8 収容所要時間別搬送人員

事故種別 所要時間	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
10分未満					0
内管外					0
10分以上20分未満	31	3	10	13	57
内管外					0
20分以上30分未満	816	70	231	121	1,238
内管外	34	1	7	42	84
30分以上60分未満	3,732	287	717	461	5,197
内管外	1,666	111	181	351	2,309
60分以上120分未満	400	35	62	72	569
内管外	321	24	43	66	454
120分以上	7			2	9
内管外	7			2	9
合計	4,986	395	1,020	669	7,070
内管外	2,028	136	231	461	2,856

9 年齢・性別搬送人員

年齢別 区分	10歳未満	10歳以上	20歳以上	30歳以上	40歳以上	50歳以上	60歳以上	70歳以上	80歳以上	不明	合計
		20歳未満	30歳未満	40歳未満	50歳未満	60歳未満	70歳未満	80歳未満			
男	285	128	168	157	236	345	421	861	1213		3,814
女	184	102	151	155	196	172	283	579	1,434		3,256
合計	469	230	319	312	432	517	704	1,440	2,647		7,070

10 時間別救急出動状況

事故種別 時間別	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				計
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 搬 送	そ の 他	
0時～2時	1			5			29	1	2	241	7				286
2時～4時				5			23	1	4	230	4			2	269
4時～6時	2		1	10	1		31		1	263	3				312
6時～8時	1		2	44	4		91		6	457	6			1	612
8時～10時	3		4	62	19		152	3	7	673	36			1	960
10時～12時	3		2	55	16	5	162	1	6	624	122				996
12時～14時	2		1	33	8	3	117	2	5	537	114			2	824
14時～16時			2	57	16		136	1	9	477	55			1	754
16時～18時	3			58	9		120	3	6	526	81				806
18時～20時	1			46	3		87	2	6	541	49			2	737
20時～22時			1	25	2	1	93	3	3	454	19			1	602
22時～24時	1		1	12			33	3	8	342	16				416
合計	17	0	14	412	78	9	1,074	20	63	5,365	512			10	7,574

11 救急法講習会実施状況

実施対象	一般市民	市職員	事業所	消防団	各種団体	合計
件数	24	1	18		13	56
人員	582	17	212		166	977

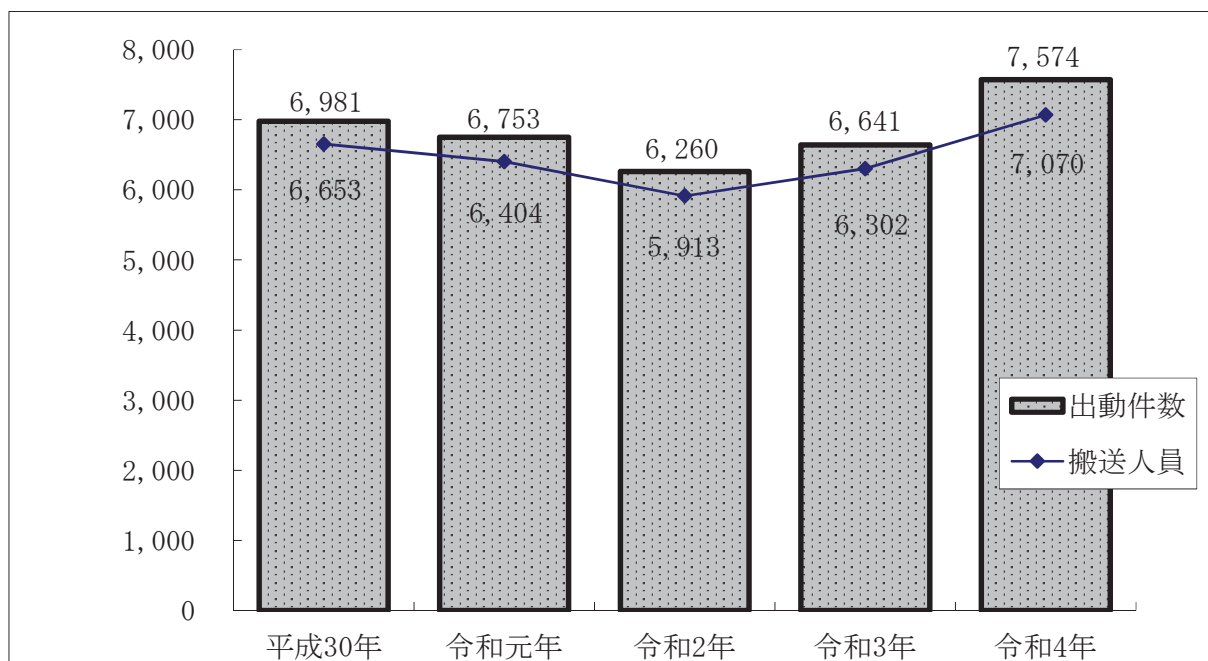
※本表は救命入門コースの実施件数・人員(一般市民・事業所 24件・236人)を含む。

12 普通救命講習会実施状況

実施対象 区別 月別	一般市民		市職員		事業所		消防団		各種団体		合計	
	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
	1月			1	5	3	27					4
2月			4	39							4	39
3月	1	4									1	4
4月	1	2	1	3	1	10					3	15
5月	1	7			2	30					3	37
6月	2	10	5	62	4	27			1	8	12	107
7月	2	13			6	24	3	30			11	67
8月	3	17			2	23					5	40
9月	3	20	3	12							6	32
10月	4	22	2	57	1	6					7	85
11月	1	4	1	11	3	19					5	34
12月	1	2	4	34	1	10			2	13	8	59
合計	19	101	21	223	23	176	3	30	3	31	69	551

13 出動件数の推移

事故種別	年				
	平成30年	令和元年 (平成31年)	令和2年	令和3年	令和4年
火災	8	15	11	15	17
自然災害	2				
水難事故	7	9	4	12	14
交通事故	563	496	429	417	412
労働災害	72	63	40	53	78
運動競技	27	22	9	14	9
一般負傷	940	953	931	1,003	1,074
加害	22	22	26	13	20
自損行為	46	64	52	52	63
急病	4,798	4,588	4,260	4,564	5,365
その他	496	521	498	498	522
合計	6,981	6,753	6,260	6,641	7,574
搬送人員	6,653	6,404	5,913	6,302	7,070



救助統計

目 次

1	令和4年 救助業務の概要	1
2	救助概況	2
3	事故別出動状況	3
4	発生場所別出動状況	4
5	発生場所別活動状況	4
6	発生場所別救助人員	5
7	地区別出動件数及び人員等	5
8	月別救助出動状況	6
9	出動件数の推移	6

1 令和4年 救助業務の概要

(1) 出動件数

令和4年における救助出動件数は60件で、前年の82件と比べ22件減少した。

救助出動件数を月別にみると、4月が9件（15.0%）と最も多く、次いで10月が8件（13.3%）、7月及び8月が各6件（各10.0%）、1月、2月、3月及び6月が各5件（各8.3%）、5月が4件（6.7%）、9月及び12月が各3件（各5.0%）、11月が1件（1.7%）の順であった。

さらに、救助出動件数を地区別にみると、「西尾地区」が16件（26.7%）と最も多く、次いで「一色地区」が13件（21.7%）、「吉良地区」が9件（15.0%）、「幡豆地区」が8件（13.3%）、「三和地区」が5件（8.3%）、「寺津地区」、「福地地区」、「室場地区」及び「米津地区」が各2件（各3.3%）、「平坂地区」が1件（1.7%）の順であった。また、「管外」にあつては0件であった。

(2) 事故種別

事故種別をみると、「交通事故」が15件（25.0%）、「建物等による事故」が12件（20.0%）、「水難事故」が11件（18.3%）、「火災建物」が4件

（6.7%）、「機械による事故」が2件（3.3%）の順であった。これらに分類されない「その他の事故」16件（26.7%）については、住宅等での安否確認が6件、小児等の乗用車内への閉じ込めが4件、転倒・転落により救助要請されたものが4件、土木工事によるものが1件、誤報が1件であった。

(3) 救助人員

救助人員は49人で、事故種別でみると「交通事故」が15人（30.6%）と最も多く、次いで「水難事故」が11人（22.4%）、「その他の事故」が9人（18.4%）、「建物等による事故」が7人（14.3%）、「火災建物」が5人（10.2%）、「機械による事故」が2人（4.1%）の順であった。

2 救 助 概 況

区 分		単 位	令和4年 (A)	令和3年 (B)	増 減 数 (A) - (B)
出動件数		件	60	82	△ 22
火災	建 物		4	4	0
	建 物 以 外				0
交 通 事 故				30	△ 15
水 難 事 故				9	2
風 水 害 等 自 然 災 害					0
機 械 に よ る 事 故				3	△ 1
建 物 等 に よ る 事 故				24	△ 12
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故				1	△ 1
破 裂 事 故					0
そ の 他 の 事 故				11	5
出動人員		人	1045	1299	△ 254
火災	建 物		177	192	△ 15
	建 物 以 外				0
交 通 事 故				440	△ 198
水 難 事 故				167	70
風 水 害 等 自 然 災 害					0
機 械 に よ る 事 故				44	△ 19
建 物 等 に よ る 事 故				302	△ 146
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故				14	△ 14
破 裂 事 故					0
そ の 他 の 事 故				140	68
救助人員		人	49	58	△ 9
火災	建 物		5	2	3
	建 物 以 外				0
交 通 事 故				21	△ 6
水 難 事 故				12	△ 1
風 水 害 等 自 然 災 害					0
機 械 に よ る 事 故				1	1
建 物 等 に よ る 事 故				20	△ 13
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故				1	△ 1
破 裂 事 故					0
そ の 他 の 事 故				1	8

3 事故別出動状況

事故種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 自 然 災 害 等	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
	建 物	建 物 以 外									
出 動 件 数	4		15	11		2	12			16	60
活 動 件 数	4		12	9		2	7			11	45
救 助 人 員	5		15	11		2	7			9	49
出 動 人 員	177		242	237		25	156			208	1045
活 動 人 員	29		164	115		25	63			117	513
出 動 車 両 等	救 助 工 作 車	2		14	10		2	12		12	52
	は し ご 車										
	消 防 ポンプ 自 動 車	12		4							16
	化 学 車	2		5	12			5		3	27
	タ ン ク 車	7		10	20		2	7		18	64
	指 揮 車	5		14	12		2	12		12	57
	救 急 車	5		26	11		2	12		17	73
	船 舶										
	ヘ リ コ プ タ ー										
	そ の 他	2		1	39					8	50
	消 防 団	6									6
計	41		74	104		8	48			70	345

4 発生場所別出動状況

事故種別 発生場所別		火災		交通 事故	水難 事故	風水 害等 自然 災害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
		建 物	建 物 以 外									
屋 内	住居	3						11			5	19
	その他の屋内	1					1	1				3
屋 外	道路			12							1	13
	水面			1	11						2	14
	山岳										1	1
	その他の屋外			2			1				7	10
地下												
その他												
計		4		15	11		2	12			16	60

5 発生場所別活動状況

事故種別 発生場所別		火災		交通 事故	水難 事故	風水 害等 自然 災害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
		建 物	建 物 以 外									
屋 内	住居	3						6			3	12
	その他の屋内	1					1	1				3
屋 外	道路			9								9
	水面			1	9						2	12
	山岳											
	その他の屋外			2			1				6	9
地下												
その他												
計		4		12	9		2	7			11	45

6 発生場所別救助人員

事故種別 発生場所別		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
		建 物	建 物 以 外									
屋 内	住 居	4						6			1	11
	その他の屋内	1					1	1				3
屋 外	道 路			12								12
	水 面			1	11						1	13
	山 岳											
	その他の屋外			2			1				7	10
地 下												
そ の 他												
計		5		15	11		2	7			9	49

7 地区別出動件数及び人員等

地区別	件 数	台 数	人 員
西尾地区	16	74	243
平坂地区	1	4	12
寺津地区	2	8	26
福地地区	2	8	27
室場地区	2	8	28
三和地区	5	24	79
米津地区	2	6	20
一色地区	13	94	302
吉良地区	9	67	174
幡豆地区	8	52	134
管 外			
計	60	345	1045

8 月別救助出動状況

事故種別 月別	火災		交通 事故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
	建 物	建 物 以 外									
1 月			2	1						2	5
2 月	2			1			2				5
3 月			1	1			2			1	5
4 月			4	2			1			2	9
5 月				2			1			1	4
6 月			2	1			2				5
7 月			1	1						4	6
8 月	1		2	1		1				1	6
9 月			2							1	3
10 月	1			1		1	2			3	8
11 月							1				1
12 月			1				1			1	3
計	4		15	11		2	12			16	60

9 出動件数の推移

事故種別 年別	火災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
	建 物	建 物 以 外									
平成30年	1		17	7		2	6			2	35
令和元年 (平成31年)	1		29	10		1	8	1		7	57
令和2年	1		13	3		1	12	1		4	35
令和3年	4		30	9		3	24	1		11	82
令和4年	4		15	11		2	12			16	60